

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
I. 理念に基づく運営						
1. 理念の共有						
1	1	地域密着型サービスとしての理念	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自の理念をつくりあげ、玄関に掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	1. 毎朝、朝礼前に理念の読み合わせを実施。 2. 毎月1回職員ミーティング、事業所内研修を実施。		
3		家族や地域への理念の浸透	事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	1. 玄関正面に理念を掲示し、どなたでも目に入るようにしている。 2. 契約時に説明。 3. 運営推進会議にて説明。		
2. 地域との支えあい						
4		隣近所とのつきあい	管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	1. 歩行者への積極的な挨拶。 2. 近所の方とお茶や、おしゃべりが出来る時間をつくっている。 3. 近所の方主催の踊りや、ミニコンサートをボランティアで披露していただいている。 4. 月1回ぬくもりの家便りを配布。	○	入居者さんと手作りのおやつなどを用意し、近所の方々を招待していきたい。又、いつでも気軽に立ち寄っていただけるようにお伝えしている。
5	3	地域とのつきあい	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	1. 地域密着の農協祭りに参加している。 2. 自治会等へは、参加していない。 3. 敬老会は、一部の入居者の方しか招待がなく、不参加。 4. 幼稚園の運動会への見学は、今年是不参加。	○	1. 自治会等への参加。 2. 敬老会への全員での参加の試み。 3. 幼稚園、小学校の運動会等の見学。
6		事業所の力を活かした地域貢献	利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣地域から相談等があれば、協力するよう話をしているが、実際のところは取り組みはない。	○	前向きに取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用						
7	4	評価の意義の理解と活用	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価結果をミーティング等で全員に報告し、指摘事項について改善に取り組んでいる。	○	自己評価が管理者止まりになりがちな為、全員で取り組んでいきたい。
8	5	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヶ月に1回の割合で実施し、評価の報告・利用者さんとそのご家族の方へサービスの取り組み報告と参加者の方々の意見をお伺いしている。		
9	6	市町村との連携	事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	1. 柏市グループホーム連絡会に年に何回か出席して頂いている。 2. 高齢者支援課主催の講習や研修への参加をしている。		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
10		権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	なんとなくわかっているというかんじだと思う。今のところ、利用者がいない。	○	勉強不足の為、学ぶ機会をつくる。
11		虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に出席して学び、虐待防止につとめている。		
4. 理念を実践するための体制						
12		契約に関する説明と納得	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明を十分におこない、疑問や不安について確認をしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1. 運営推進会議にも参加して頂き、外部の方々へも意見・不満・苦情とが表せる機会を設けている。 2. 意見・不満等をさりげなく聞きだせる関わり方に努めている。		
14	7	家族等への報告	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	1. 健康状態は、面会時や電話にて行っている。 2. 月1回、ぬくもりの家便りを発行し近況報告をしている。 3. 金銭管理は、立替処理の為していない。 4. 職員の移動は、ありません。	○	1. 健康状態の報告については、書面にての報告に努めていきたい。 2. 職員の移動等は、ぬくもりの家便りで報告していきたい。
15	8	運営に関する家族等意見の反映	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1. 玄関に苦情箱を設置している。 2. 外部者への通報については、高齢者支援課で聞いて頂ける旨を説明している。 3. 面会、又は訪問時に、意見・不満・苦情・不安に思うことについて伺っている。問題がある場合は、速やかに対応する。		
16		運営に関する職員意見の反映	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1. 月1回ミーティングを開き、意見や提案を出して頂いている。 2. 稟議書が出せる体制をつくっている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	1. 短時間勤務の協力を頂いており、必要な時間帯の職員確保に努めている。 2. 職員の待機者を配置している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	1. 移動はありません。 2. 意見や希望・苦情は、いつでも聞き入れている。又、稟議書も提出できる配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援						

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
19	10	職員を育てる取り組み	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	1. 研修・講習、資格取得案内を事務室内に掲示し、朝礼、ミーティング等などでも知らせている。又、費用の全額及び一部負担制度を採っている。 2. 月1回のミーティング時に、ホームない研修をしている。	○	ホーム内研修は、全員揃うのが難しく時間にも限りがある為、研修のみの日を設けたい。
20	11	同業者との交流を通じた向上	運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会にて、スタッフ交流会を実施している。	○	スタッフ交流会のグループ単位での集まりを持たせ、各ホームの連携を図れるようにしていきたい。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み	運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	1. 公休日は希望制を取り、希望に添えるように努力している。 2. 稟議書を出せる体制を取っている。 3. 忘・新年会・暑気払い等を実施し。	○	休憩室が狭い為、少しでも広くしてゆっくり休める空間を造りたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者の努力・実績は把握しているが、職員個々までは把握しきれてない。	○	勤務状況は把握している。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
23		初期に築く本人との信頼関係	相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	必ず面談を行い、ご本人と色々な話が出るよう努力している(センター方式活用)。		
24		初期に築く家族との信頼関係	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	1. 必ず面談をし、カンファレンスを十分行う。 2. 希望等は、出来る限り対応するよう努力している。 3. ホームの見学をして頂いている。		
25		初期対応の見極めと支援	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他のサービス利用も含めた対応はしていない。但し、相談、他のサービスを利用中の体験入居は受け入れている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用	本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	1. 本人も含めたホーム見学の受け入れ。 2. 1泊の体験入居(体験入居及び、体験入居後でも希望があれば家族1人同泊可)を実施し、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援						
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者一人々を敬愛し肉親と思ひ、ここは私の家と思って頂ける環境づくり昔の生活を本人から職員が学ばせて頂き共に支えあい生きていく関係を築く努力をしている。	○	

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
28		本人を共に支えあう関係	家族との職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホーム、町内会、地域の幼稚園学校の催し等への参加のお願い、又、ぬくもりの家便りの発行により日々の生活を感じて頂ける関係作りに努力している。	○	ご家族により多少の違いがある。悩みや不安、問題点について一緒に取り組んでいきたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援	これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	1. ご本人とご家族の間は複雑な場合もあり、どのへんまで立ち入って相談やアドバイスをするのが大変難しい。中立的な立場を保つ。 2. ぬくもりの家便り等で普段の生活や本人の希望・思いなどを伝えて関係が途切れないうつとめている。	○	ご家族と会う機会をご家族の出来る範囲内で多くとっていきたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	1. 家族等の面会時に、近所の馴染みの深かった人々を誘って来て頂けるよう、お願いしている。 2. 思い出の場所へ出かけられる対応をしている(遠方でない限り)。	○	普段の会話から、本人の思い出の場所や人々を引き出し、可能な限りその場所や人々に接することが出来るよう支援していきたい。
31		利用者同士の関係の支援	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	得意なこと不得意なことを考慮し、日常生活での役割分担、レクリエーション等においてはリーダー的ポジションで動いて頂き一人ひとりが孤立しないよう努力している。	○	問題が起こる場合は、職員の目の届かない場所でチョットした時間で起きてしまう。事が起きる前に問題に対応していくよう、取り組んでいきたい。
32		関係を断ち切らない取り組み	サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	1. いつでも、気軽に立ち寄って頂けるよう、又、相談等も受ける旨を伝えている。 2. なるべく出向くように努めているが、なかなか出来ないのが現状である。	○	季節のご挨拶等の便りを出すなどして、退去後の関係を大切にしていきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
1. 一人ひとりの把握						
33	14	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	1. 利用者のその人らしい生活を自由に出るよう努力している。 2. 普段の会話から、本人の希望や意向を聞き出しケアプランに活かせるよう取り組んでいる。		
34		これまでの暮らしの把握	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	1. センター方式により、取り組んでいる。 2. 本人の精神状態にもよるが、家族や親類がいない場合は、情報収集に時間がかかり把握しきれないケースがある。	○	時間をかけて、普段の話や行動から聞き出せるよう努力したい。
35		暮らしの現状の把握	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するよう努めている	ご家族から今までの過ごし方、本人から日常会話・生活行動より心身状態や有する力の現状を把握するよう努力している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し						

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	1. それぞれの意見を出し合い、総合的な見方で計画を作成している。 2. ご家族との接点が少なく、又、計画についての意見等が少ない。報告になってしまいがち。	○	家族と会う機会を多く出来るよう努める。日頃の生活状況の報告を蜜にし、ケアの計画、課題と一緒に取り組めるよう努力する。
37	16	現状に即した介護計画の見直し	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	1. 朝夕の申し送り、1週間の生活記録の集計により対応している。 2. 毎月1回のミーティングでモニタリングを行っているが、見直しの取り組みは不足。 3. 見直し以前の対応は、介護認定の見直しがない以外、又、家族からの要望も今までなく見直しをしたことはない。	○	現状に即した計画を作成するよう取り組んでいきたい。
38		個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人別の生活記録を1週間にまとめ、情報を共有し介護計画の見直しに活かしている。	○	より多くの情報や意見を収集し、介護計画作成に取り組んでいきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働						
40		地域資源との協働	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	近隣の方々のボランティアは受けている。	○	今後、地域運営推進会議等出席して頂き協力しながらの支援に努めたい。
41		他のサービスの活用支援	本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスを利用する為の支援はしていない。		
42		地域包括支援センターとの協働	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域運営推進会議に出席して頂いている。	○	会議以外に協働の機会をつくりたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援	本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	1. 協力病院契約を結んでおり、2週間に1度の訪問診療、24時間体制、緊急時の対応をしている。 2. 本人のかかりつけがある場合、緊急時、診療時間外以外はその病院で診療して頂いている。		
44		認知症の専門医等の受診支援	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力病院からの紹介状はいただけるが、専門の医師との関係は築いていない。	○	専門医師との関係が築けるよう努めたい。
45		看護職との協働	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員の配置はない。	○	看護職員の配置に努めたい。

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
46		早期退院に向けた医療機関との協働	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	協力病院契約を結んでおり、ソーシャルワーカーとの連携をとっている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	1. 早い段階からの話し合いの場は設けていない。 2. ターミナルケアは取り入れてないが、協力病院とでの話し合いの場を設ける取り組みはしている。	○	将来は、看護職員を配置しターミナルケアを目標にしたい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援	重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	「できること・できないこと」の見極めは家族とかかりつけ医と職員の話し合いで取り組んでいるが、看護師の配置がない為かかりつけ医又は協力病院にお願いしている。	○	1. 看護職員の配置。 2. ターミナルケア講習会の参加 及びホーム内の勉強会の実施の取り組み。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止	本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	話し合いや情報交換の場はつくっている。場合によっては医療関係者にも出席して頂くようお願いしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
1. その人らしい暮らしの支援						
(1)一人ひとりの尊重						
50	20	プライバシーの確保の徹底	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	1. プライバシーを損ねるような言葉かけはしないようミーティング等で行っている(くん・ちゃん言葉の使用禁止等) 2. 記録等は、個人別の管理。保管は施錠を徹底している。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援	本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	一人ひとりの違った、その人なりの生活が送れるよう取り組んでいる。	○	1. 日常生活の場において、できることできないことを見出し個人別に支援していく。 2. 思いや希望を表せるよう働きかけ、その日その日の生活環境をより良いものに支援していきたい。
52	21	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活パターンやペースを把握し、できる限り思いや希望に添った過ごし方ができるよう支援している。	○	まれに職員の優先が見受けられる。本人のこれまでの生活を維持する事の大切さについて理解できるよう、ホーム内の勉強会にて取り組んでいきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援						
53		身だしなみやおしゃれの支援	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	1. 家族と相談し、本人の希望を取り入れ望む店に行けるようにしている。 2. 定期的にホームへの出張もあり、本人の希望を取り入れたサービスが受けられるよう支援している。		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
54	22	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1. 利用者と職員と一緒に食事を取れるには、スペースが少ない為、職員同食は一人か二人になってしまう。 2. 食事の準備や後片付けは一緒にして頂いている。	○	テーブルの配置や分割ができるようにし、利用者と職員と一緒に食事ができるよう努めていきたい。
55		本人の嗜好の支援	本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	1. お酒は、毎回ではないが楽しめるようにしている。 2. タバコは、喫煙場所を設置している。 3. おやつは、週に何回かはみんなで手作りをし、楽しめるよう支援している。		
56		気持ちよい排泄の支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	1. 生活記録に排泄項目があり、失敗が目立つ場合は排泄パターンをつかみ失敗やおむつの使用が減らせるよう支援している。 2. 失敗やおむつの交換及び確認は、さりげなく自室への誘導をし、羞恥心やプライバシーを損ねないよう支援している。		
57	23	入浴を楽しむことができる支援	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1. 特に曜日の指定はしていないが、かたよがりがある。 2. 時間帯はおおよそ決まっているが、希望に添えるよう努めている。	○	希望の時間に入浴できるよう努めたい。
58		安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	起床や就寝は自由にとれるようにしている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	1. 今までの生活歴に近い日常生活が送れるよう、役割・楽しみごと・気晴らし等について支援している。 2. 広い庭を活かし、グランドゴルフやお花や植木等、できる範囲以内ではあるが楽しんで頂いている。		
60		お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族と話し合い取り決めをしている。		
61	25	日常的な外出支援	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	全員で出かけるのは月に1回程度、好きな職員と一人ひとり又は好きな利用者同士で出かけられるようできる限り支援している。		
62		普段行けない場所への外出支援	一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	1. できる限り希望に添えるよう努力している。2. 家族との外出は、いつでも対応している。又、催し等は家族にもお知らせし参加を呼びかけている。		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
63		電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を利用している利用者がいるので、家族へ確認してから対応している。本人自らの電話利用は、今のところないが希望があれば、家族へ確認後対応できる。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は特に設けてなく、いつでも訪問できるようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援						
65		身体拘束をしないケアの実践	運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	1. 身体拘束は、現在は必要としていない。 2. 身体拘束研修に参加、ホーム内勉強会、身体拘束廃止宣言をし取り組みに努めている。禁止の対象となる具体的な行為については、再確認が必要。	○	介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為の再確認。
66	26	鍵をかけないケアの実践	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1. 居室は、24時間、施錠していない。 2. 玄関は夜間のみ施錠。門は施錠しているが、外側からは入れるようにしている。		
67		利用者の安全確認	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	1. 居室での生活ではプライバシーの配慮に注意している。入室時のノックや声かけを徹底。 2. いつでも自由に庭へ出れるようになっている為、利用者の所在や様子に目配りを行っている。	○	特に、転倒による骨折などに十分な注意が必要。
68		注意の必要な物品の保管・管理	注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	その人の状態に応じて、裁縫やハサミ、食事準備での包丁の使用については、必ず職員同席にての対応をしている。		
69		事故防止のための取り組み	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ミーティング等にて、各問題となる原因やもし起こってしまった時の対処の仕方を職員全員で勉強している。	○	対処の仕方の理解は、実際に起こったことを想定すると、十分でない感じに思われる為、繰り返しの勉強会が必要。
70		急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的な訓練は、行っていない。	○	講習や研修に積極的に参加し、技術を身につけ定期的に訓練を行う。
71	27	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	1. 自主避難訓練は行っているが、消防署立会いの訓練はない。防火管理者の受講者はいる。 2. 地域の人々の協力を得ていない。	○	1. 消防署立会いの非難訓練の実施。 2. もしもの場合に備えて、地域の人たちへの協力をお願いする。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人ひとりに起こりえるリスクの状態の変化を報告している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援						
73		体調変化の早期発見と対応	一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化や異変の発見に努め、朝夕の申し送りに必ず報告をしている。		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
74		服薬支援	職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1. 処方薬は、協力病院の薬剤師が届けられる為、そのつど説明と注意をいただいている。 2. 薬の振り分け時の処方箋とのチェック、服薬時のチェック及び手渡し徹底。		
75		便秘の予防と対応	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	1. プライバシーを考慮できる範囲以内の排便チェック。 2. 食物繊維の摂取。 3. 毎朝の体操と散歩をしている。		
76		口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の歯磨きを声かけし口腔ケアの支援をしている。義歯の手入れは現在は本人が自分でやっている為、見守りをしている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活記録へ記入し集計を取り、一人ひとりの習慣に応じた支援をしている。		
78		感染症予防	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	1. 感染症予防研修に出席、マニュアルあり。		
79		食材の管理	食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	1. 調理前の手洗いの徹底。 2. 食品は、多量仕入れを行わず、毎日仕入れるようにしている。野菜等は、3日に1度。 3. 食器、器具等、乾燥機にて滅菌。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり						
(1)居心地のよい環境づくり						
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫	利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	1. 庭や門扉・玄関は、道路に面していて外側からはいつでも入れるようになっている。 2. 敷地の前が小さな森になっているが、ゴミが目立ち景観を損なっている。片付けたいが、他人の土地のため市の方でも対応できないとのこと。	○	グループホームの看板を作成する。
81	29	居心地のよい共用空間づくり	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	1. 居間及び食堂は窓が掃きだしのなっており、明るく開放感がある。 2. 廊下は2箇所に天窗があり、昼間は電気を必要としない。 3. 南側の居室は、全室掃きだしでその前面は庭、その前は小さな森になっている。北側の居室は掃きだしではないが、高台になっており見晴らしが良い。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり	共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	建物の構造上、一人になれる空間は無いがリビング、食堂(一つの空間だがテーブルが3分割できる)、ガーデンテーブルがあり気のあった利用者同士で思い思いに過ごせるよう工夫をしている。		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室利用に際して、持ち込み品の制限はしていない(危険を及ぼすもの意外)。使い慣れたもの好みのもを用意して頂くよう家族にお願いしている。		
84		換気・空調の配慮	気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	1. 換気扇はキッチンにしかないが、全ての扉を開放でき、換気に努めている。 2. 全居室及びリビングダイニングは冷暖房完備、リビングダイニングに滅菌空気清浄機あり。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり						
85		身体機能を活かした安全な環境づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	1. 全部所バリアフリーだが、南側居室の掃きだしが地面との差が高く危険性がある。 2. 玄関の庭側に手すりが無い。 3. スロープの手摺は、ストレッチャーが取れない為付けていない。	○	1. 縁台等の設置を試みる。 2. 危険部の手摺の設置。
86		わかる力を活かした環境づくり	一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりのその人なりの生活やペースを大切に、わかる力を活かした共同生活上の分担軽作業や身の回りのできることを支援している。		
87		建物の外周りや空間の活用	建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭は自由に出入りでき、パラソル付のテーブルがありくつろげる。小さいながらもランドゴルフやお花いじりもできる。	○	将来、サンデッキもしくはオープンデッキを設置したい。

(様式1)

自己評価票

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
V. サービスの成果に関する項目			
88		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89		利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者があるところへ出かけている ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどいない
96		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
97		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/> ①大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> ②少しずつ増えている <input type="checkbox"/> ③あまり増えていない <input type="checkbox"/> ④全くいない
98		職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> ②職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
99		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
100		職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどできていない